



情報セキュリティを強化! インターネットライフを快適にしていこう!

その8

セキュリティホール対策は万全ですか??

■セキュリティホールとは

セキュリティホールとは、パソコンのOSやソフトウェアの設計ミスなどが原因で生じたシステム上の「抜け穴」「弱点」のことです。特にネットワークを利用するブラウザソフト（インターネットを見るためのソフト）やメールソフトなどのセキュリティホールを放置しておくと、不正アクセス（情報の改ざんや個人情報の流出など）やウイルス感染の危険にさらされることになりかねませんので、セキュリティホールの対策を心掛けましょう。

■セキュリティホールの対策は?

1. OSやソフトウェアのアップデートを頻繁に行い、常に最新の状態にしておきましょう。

メーカーでは、セキュリティホールが発見され次第、すぐに修正プログラムを配布します。ただし、その時、対策ができて新たなセキュリティホールが発見されることがあるため、更新情報は、頻繁に収集するようにしましょう。Windowsの場合には、「Windows Update」を実行することによって、セキュリティホールを防げます。

2. ファイアウォールを「有効」に設定しておきましょう。

インターネットで、外部の攻撃からパソコンを守るハードウェアやソフトウェアのことをファイアウォールといいます。最新のOSやウイルスソフトとセットで販売されていることも多いので詳細を確認して設定を【有効】にするとよいでしょう。



次のホームページにアニメーションで説明されていますのでご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/security/enduser/ippan06_a.htm

このような状況から火災の発生を早期に知らせ、住宅火災による死者を無くすため、住宅用火災警報器が義務化されました。

消防署では販売していません!
火災警報器は、ホームセンターなどで取り扱っています。購入の目安

死者の6割が
65歳以上の
高齢者

死亡原因の
約7割が
逃げ遅れ



平成16年6月の消防法および土岐市火災予防条例の改正により、一般住宅（戸建住宅、マンション、アパート、店舗など併用住宅の住宅部分）に火災警報器の設置が義務付けられました。

- ・新築住宅：平成18年6月1日から
- ・既存住宅：平成23年5月31日までに

なぜ火災警報器が必要なのか?

としては、鑑定マーク・NSマークが付いているものを選びましょう。

- ・新築、改築を計画の方は、住宅メーカーや地域の工務店にご相談ください。
- ・個人でも容易に取り付けることができますが、設置を依頼する場合には、工事内容をよくご確認ください。悪質な業者にご注意ください!

「消防署の方から来ました。各家庭に火災警報器の設置が義務付けられました。」といって不当な価格で売りつける訪問販売などの悪質な業者によるトラブルが発生しています。「すぐに」とか「この警報器を取り付けなければならぬ」などと設置を迫る業者に対しては、注意する必要があります。「特定商取引に関する法律」に基づくクーリング・オフ制度の対象であり、契約後、一定の期間は、契約解除が認められています。

住宅火災警報器についてのお問い合わせなど詳しくは、市消防本部・北消防署(☎530119)・南消防署(☎580119)へどうぞ。



全家庭で住宅用火災警報器の
設置が義務化されました

市消防本部
☎530123